淡路市人権広報紙

まるごとじんけん

第79号

人権の花運動

～思いやりのこころを育てよう～



【北淡認定こども園】

「みんなでお水あげてね」と言うと、喜んでお水をあげてくれました。

◆特　集◆

人権の花運動

淡路市人権シネマの集い

P5　**人権の眼**
株式会社吹き戻しの里
代表取締役社長　村田　晋二 さん

P6　**うちの保育園紹介します！**
塩田保育園

発行：2026(令和 8)年11月５日　淡路市・淡路市教育委員会・淡路市人権教育研究協議会
編集：淡路市人権教育研究協議会広報委員会　※淡路市 HP(よく見られる情報→人権広報)

「人権の花運動」

人権啓発活動明美淡地域ネットワーク協議会（神戸地方法務局洲本支局、洲本人権擁護委員協議会、淡路市）は、花を育てることをとおして、協力することの大切さや生命の尊さを体験的に学び、豊かな情操を育むことを目的として、人権の花運動を実施しています。

応募のあった志筑保育園、塩田保育園、大町保育園、北淡認定こども園、浦保育所の5施設にプランター、肥料、花苗などを配付し、子どもたちが大切に育ててくれています。



～塩田保育園の様子～

「お花をもらったから、プランターに土を入れよう。」
「みんなでがんばろかー。」
「先に石からやでー。」
「ちょっと待っといてなー。手伝うから。」



「私、白いお花大好きやねん。どっち向きに植えようかなぁ。」
「大きくなるかなぁ。そーっと優しく持たんとお花取れてしまうねん。」
「私はピンク色が好き。そーっと植えてみるわ。」

子どもたちは、花のお世話をとおして、命の大切さに気付き、思いやりの心が育っています。人権の花運動をとおして、一人ひとりを大切にする心が地域全体に広がっていくことを願っています。

第20回淡路市人権シネマの集い



©2025「35年目のラブレター」制作委員会

令和8年7月18日（土）淡路市立サンシャインホールにおいて第29回淡路市人権シネマの集いを開催しました。第1部は満席で、2部と合わせて393人がお越しくださいました。

今回上映したのは、「35年目のラブレター」です。戦時中に十分な教育を受けられず、読み書きができないまま大人になった主人公、西畑保さんが自身を支え続けてくれた最愛の妻、皎子（きょうこ）さんへこれまでの感謝を伝えようと決意し、夜間中学校へ通い始めます。文字の勉強に励む夫と、温かく見守る妻の姿を描いた愛と絆の物語です。主な出演者は笑福亭鶴瓶さん、原田知世さん、重岡大毅さん、上白石萌音さんです。冒頭の挨拶の中で、淡路市人権教育研究協議会の山添繁会長は、「主人公が夜間中学の識字学級で学び直す姿が描かれ、人は何のために学ぶのか、学ぶことで人生がどのように豊かになるかを教えてくれています。」と述べました。

シネマをご覧になった方の感想を紹介します。

「愛する人のために文字を書くことにチャレンジしてできるようになったこと。自分の辛かったことや気持ちを伝えたことでお互いの心がひとつにつながったことに感動しました。」
「幸せは、当たり前ではなく、一つひとつ積み重ねられてきたものだと改めて感じました。」
「幸せをまたひとつ見つけました。感謝を心から言える人になりたい。」
「何歳になっても新しいことに挑戦できる自分でありたいと強く思わせてくれました。」

この作品をとおして、学ぶことの喜びや人を思いやる心、そして誰もが自分らしく生きる大切さについて、改めて考える機会となりました。

車イスで来場される方へ

淡路市人権教育研究協議会が主催する淡路市人権シネマや淡路市人権を考える集いについて、事前に車イスのご利用の連絡をいただきましたら、駐車場及び観覧スペースの準備をいたします。



2026 人権標語

【小学校低学年の部】

特選	ともだちの　えがおがみたくて「いってきます」	志筑小学校１年	阪本（さかもと）　琉衣（るい）
入選	知ってほしい　みんなとちがうぼくの色 見せてほしい　ぼくとはちがうきみの色	志筑小学校３年	東田（ひがしだ）　慶祐（けいゆう）
入選	ともだちの「こまった」に気づける　やさしい目	北淡小学校２年	山下（やました）　銀太（ぎんた）
入選	これがすき　それいいねの　はな　さかそう	石屋小学校１年	中田（なかた）　彩翔（あやと）
佳作	かげぐちを　言ってるあなた　おにのかお	志筑小学校３年	楫田（かじた）　天寧（あまね）
佳作	ありがとう　ごめんねをいう　あたりまえ	石屋小学校３年	井戸寧ノ迦（いどねのか）
佳作	え顔のわ　一緒に走れ　どこまでも	北淡小学校３年	南（みなみ）　陽心（はる）
佳作	それもいい！　ちがっていても　だいじょうぶ	一宮小学校２年	矢野（やの）　史登（ふみと）
佳作	つよいより　やさしいひとが　かっこいい	北淡小学校１年	公受（おおやけ）　煌琥（こうが）

【小学校高学年の部】

特選	失敗は　わらうものじゃない　学ぶもの	津名東小学校４年	岡（おか）　翔太郎（しょうたろう）
入選	その一言　しまう勇気と　出す勇気	学習小学校６年	奥村（おくむら）　桔子（きこ）
入選	やめときや　友も心も　にげてくで	石屋小学校５年	田中（たなか）　孝明（たかあき）
入選	ふき飛ばしたい　イヤな空気が作る壁	北淡小学校５年	髙田（たかた）　侑杜（ゆず）
佳作	ネガティブな　言葉は全部　ゴミ箱へ	津名東小学校６年	長野莉望愛（ながのりのあ）
佳作	知りたいな　AIではわからない　心の中	学習小学校６年	脇本（わきもと）　莉緒（りお）
佳作	見えないと　なんでもありでは　ないんだよ	大町小学校５年	小濱（こはま）　佳（よし）
佳作	じょうだんで　すむのは言った　あなただけ	石屋小学校５年	小町（こまち）　菜月（なつき）
佳作	暗やみに　やさしい言葉　光さす	浦小学校４年	辻（つじ）　花遥（かのん）

♥すべての人に対する暴力をなくそう！



淡路市では、性別にかかわらず暴力をなくす活動を推進しています。
DVなのか、性暴力なのか、分からなくても不安な気持ちを抱えたら、相談窓口に話してみませんか？話すだけって、だけ、じゃないから。すべて話さなくてもいい。決断を急がなくてもいい。その先のことは、話してから考えても大丈夫です。

問い合わせ先
淡路市市民生活部市民交流・人権課　人権推進係
〒656-2292　淡路市生穂新島８番地
【電話】0799-64-2521・【FAX】0799-64-2565　【Email】awaji_jinken@city.awaji.lg.jp



県人権教育研究大会淡路地区大会

8月1日、淡路市立しづかホール及び関西看護医療大学において、人権教育の研究・実践の深化と拡充を図るため、兵庫県人権教育研究大会淡路地区大会が開催されました。記念講演では「人権文化を考える～福をはこんだでこまわし～」を演題に、阿波木偶箱まわし保存会の皆さんが実演を交えながら伝統文化や差別問題について講演されました。その後、参加者は人権に関する様々なテーマの分科会にわかれ、事例や課題を聞き、意見交換を行いながら、さらに学びを深めました。



淡路市人教管内保育園(所)・認定こども園部会研修会

9月12日、淡路市役所でひょうご発達障害支援センター クローバー相談支援員の西窪健太さんを講師に迎え、「発達障害の子どもをもつ保護者へのかかわり方」をテーマに講演いただきました。その後のワークショップでは、子どもの悩み等を共有しました。

参加者からは、「お子さんの悪いことばかりを伝えるのではなく、頑張っている姿や、できたこと、小さなことでも伝え、信頼関係を築き、保っていくことがいかに大切であるかを学ぶことができました。」等の感想がありました。



淡路市小中学校教職員人権研修会兼淡路地区人権教育研究協議会小中学校部会

8月24日、淡路市役所で市内小中学校教職員人権研修会を行いました。約100人が参加し、みえ人権教育・啓発研究会 松村智広さんによる講演「へこたれへん～人はきっとつながれる～」をテーマに自身の経験を話され、その後に熱心なグループ討議が行われました。参加者からは、「『子どもの意識を変えてやる！』と意気込むのは傲慢であり、自分が自分を振り返って、意識を変えるような授業づくりが大事なのだと考えさせられました。」等の感想がありました。



第1回淡路市じんけん市民講座

9月28日、淡路市役所で市内在住の清水真美さんを講師に迎え、「『らしさ』を持って共存者になるために」と題し、講演会を開催しました。ワークショップでは、グループ間で意見を出し合い、外国人との共存に自分たちに何ができるのかを考えました。参加者からは、「普段は外国人と日本人の違いを言語、見た目で考えていました。講演で、見た目は日本人でも国籍上は外国人であることがあると改めて聞き、外見や言語だけで区別することはできないと実感しました。」と感想がありました。

コラム
人権の眼（まなこ） No.79
みんなが笑顔になれる場所へ

株式会社吹き戻しの里
代表取締役社長 **村田　晋二**

懐かしいオモチャの吹き戻しは、子どもから大人まで、誰もが笑顔になれる玩具であり、私たちも「みんなが笑顔になれる企業」の実現に向けて、ユニバーサルな取組を続けています。

現在、私たちはその目標のもと、女性が活躍できる企業としての「フレッシュミモザ企業認定」取得やジェンダーに配慮したトイレの設置、兵庫県ユニバーサルツーリズムに向けた車イスの常備など環境づくりに取り組んでいます。

こうした取組の原点には、20年以上前のある養護学校（現特別支援学校）の生徒さんとの出会いがありました。生まれつき障がいのあったその生徒さんは、最初は吹き戻しを上手く吹くことができませんでした。しかし、一生懸命に練習を重ね、しばらくして学校から「吹けるようになった」と嬉しい連絡があったのです。さらに、吹き戻しの製作体験がきっかけで、その子が笑顔になっただけでなく、練習の別の成果として、ストローで上手に飲み物が飲めるようになったとのことでした。

吹き戻しの製作体験は、お年寄りや外国人観光客、様々な障がいのある方、ＬＧＢＴＱ＋の方など、あらゆる人を笑顔にしてきました。これは吹き戻しの力だけでなく、来てくれた人を笑顔にしたいという当社の社風によるところもあります。私は、自社の商品やサービスには大きな価値があると確信し、三代目の社長に就任した後も、お客様への配慮や社内環境をよりよくするための取組を続けてきました。これからも吹き戻しが持つ「人を笑顔にする力」を大切にしながら、どのような人も笑顔にできる企業でありたいと思います。また、淡路市内の観光地や企業を含め、地域全体が「みんなが笑顔になれる場所」になっていくことを願っています。



わんぽいんと **手話（しゅわ）!!** 第68回

このコーナーでは、ろうあ者の生活や手話等を紹介します。

テーマ
「高校教科書に『旧優生保護法』が掲載」

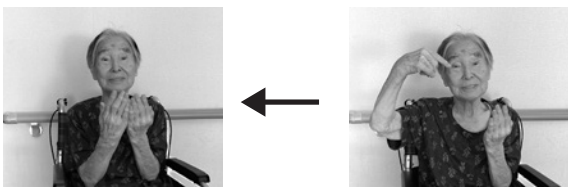
今年の高校教科書検定で合格した公民科目「政治・経済」の教科書５点すべてに、旧優生保護法に関する記述が掲載されました。

旧法を憲法違反であるとするコラムや、本人の意思が尊重されなかった実態に踏み込んだ記載がされている教科書もあります。

１９４８年に成立した優生保護法は、「不良な子孫の出生を防止する」という優生学の思想に基づき、遺伝性疾患や障がいのある人々に、強制不妊手術などを認めた法律で、48年間、多くの被害を生んできました。

２０２４年には最高裁が、憲法13条の「個人の尊重」や幸福追求権に照らし、旧法を違憲と断じ、現在は被害者への補償措置が進められています。

裁判の原告団や弁護団、解決をめざす全国連絡会は、国が教科書を通じて優生思想を広めてきた事実を重く受け止め、すべての教育段階で、被害の実態を明記するよう求めてきました。



「教科書」
① 横に向けた右手人差し指を前方斜め下へ2回振る。
② 両手掌を合わせ、小指側を軸にして両手を開く。

協力：淡路聴力障害者協会　手話サークル津名

じんけんイベント情報のご案内

地域・家庭・職場の中でお互いに信頼し合える関係をつくるには、相手を尊重する人権意識が大切です。淡路市人教は、「多様性を尊重できるまちづくり」をめざします。

◆第 22 回淡路市人権を考える集い

開催日	実施場所	内容（テーマ）	講師
12 月 5 日(土) 開場 13：30 開会 14：00 ～	淡路市立 サンシャインホール (淡路市浦 148 番地 1)	14：00　開会行事 14：15　人権尊重作品表彰式 14：45　文集こころ優秀作品朗読発表 15：00　記念講演 「自分らしく生きる」	悠似（ゆい）さん LGBT 講演＆ライブ

◆じんけん市民講座　※いずれも時間は 14：00 ～ 16：00　場所は市役所２号館３階大会議室

開催日	内容（テーマ）	講師
1 月 27 日(水)	男女共同参画	豊岡市くらし創造部多様性推進・ジェンダーギャップ対策課　上田　篤さん
2 月　1 日(月)	感染症	B 型肝炎訴訟大阪原告団　横山　功一さん　安冨　るり子さん

うちの保育園紹介します！

その 40

塩田保育園

「やってみたい！」がいっぱいの毎日

本園の子どもたちは、豊かな自然の中で、毎日たくさんの「見つけた！」や「やってみたい！」に出会っています。園の周りには散歩コースがたくさんあり、牛を見たり、草滑りをしたり、季節の草花や生き物に触れたり。四季の移り変わりを五感で感じながら、それぞれに「楽しい！」を見つけています。

周辺の田んぼでのオタマジャクシすくいから、園でメダカの産卵やオタマジャクシがカエルになるまでを見守ります。小さな命との出会いが、子どもたちの好奇心を育んでいます。

園庭では、野菜も育てています。野菜が少しずつ大きくなる様子を見守り、収穫した野菜は、給食でいただきます。苦手だった野菜も食べようとする姿が増えました。

お茶教室では、自分で点てたお茶を味わったり、日本の伝統文化に触れたりしながら、礼儀作法やお箸の持ち方、そして食べることの大切さを教えていただきました。

また、年齢の違う子どもたちが、一緒にゲームやふれあい遊びをする機会も多くあります。小さい子は、お兄さん、お姉さんと遊ぶことを楽しみ、大きい子は手を優しくつないだり、困っている子に声をかけたり。園では、みんながみんなのことを知っていて、一人ひとりの小さな変化や頑張りにも気付いてくれる温かさがあります。互いに関わる中で、大きい子への憧れや「自分もやってみたい！」という気持ちが育っています。

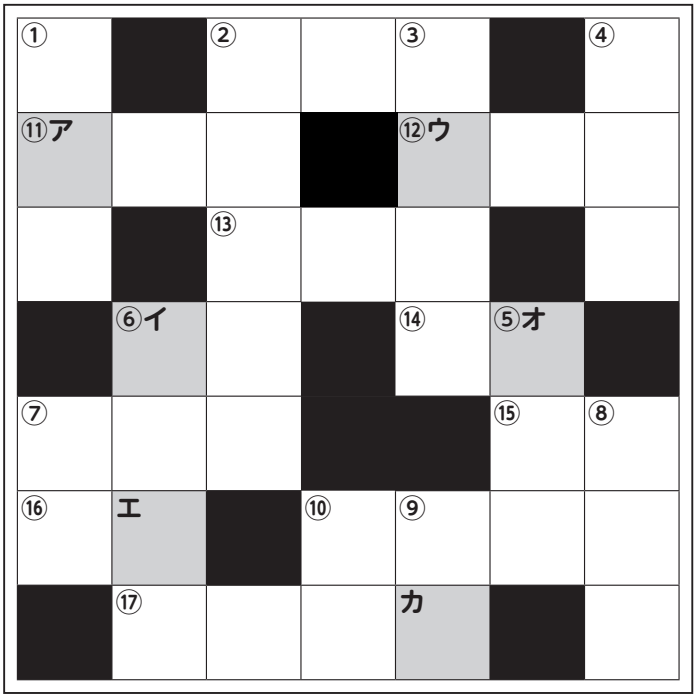
毎月の防災訓練では、災害から命を守るために何をすればよいかを、子どもなりに考え、身につけています。年度末には年長児が一年を振り返り、命の大切さや自分たちが学んだこと、感じたことを自分の言葉でみんなに伝えます。経験を重ねる中で、自分の命だけでなく、みんなの命を大切にする気持ちと、伝える力が育っています。

一人ひとりの感じたことや思いを大切にし、友だちと一緒に楽しみ、認め合う。本園は子どもたちの笑顔と「やってみたい！」という気持ちをこれからも育んでいきたいと思います。



さあ行こう♪

クロスワードクイズ



★６文字（ア～カ）でできる言葉が答えです。

㋐㋑㋒㋓㋔㋕

ヒント→今回の特集記事です。

◆クイズの答え、住所・氏名・年齢（学年）とご意見・ご感想・イラストなどをハガキに書いてご応募ください。下の QR コードからでもご応募いただけます。正解者の中から抽選で図書カードをプレゼントします。

【あて先】
〒656-2292　淡路市生穂新島８番地
淡路市市民生活部市民交流・人権課
クロスワードクイズ　係

【しめきり】
2026年12月7日㈪（当日消印有効）

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



【タテのカギ】

① 毎日の食事の主役
② 同じことを２回したあと、次は何回目？
③ 遊びや観光に出かけること
④ 性的マイノリティを理解し、支援する人を何という？
⑤ 地中に通す太い管
⑥ 心がほっとした
⑦ 干すと甘～くなる秋の果物
⑧ 生物がもつ遺伝情報のすべて
⑨ 豚の鳴き声
⑩ 「〇〇肯定感を上げる」この〇〇に入る言葉は？

【ヨコのカギ】

② もっとも古いこと
⑥ 「ある」の反対は？
⑦ 後ろの正面だあれ？で知られる遊び
⑩ 「私自身の」を言い換えると
⑪ 水面に広がる輪
⑫ 小さな卵でおなじみの鳥
⑬ 神社などで、神様に奉納する歌や舞を何という
⑭ 昔の台所で煮炊きに使ったもの
⑮ 光がさえぎられてできる暗い部分
⑯ 元素記号 Au
⑰ 本人にかわって物事を行うこと

第78号の答え　**「コドモノジンケン」**

①そ		⑪ア こ	④ま		⑦へ	⑱い
⑬だ	て		⑭ウ も	⑥の	の	キ け
つ		③さ	ら	ん	へ	よ
	⑱て	ん	れ		⑯エ の	イ ど
②い		⑰か	る	が	も	
⑱き	つ	す	⑤い		⑲へ	⑩り
⑳る	ク ん	る	カ ん		㉑オ じ	か

2026 人権ポスター・標語入賞作品

（応募総数　ポスター 511 点・標語 3,912 点）

9月 11 日淡路市役所で「人権尊重ポスター」と「人権標語」の作品の審査を行いました。

入賞作品は本紙に順次掲載するほか、下記展示会場で展示します。また、「人権を考える集い」で表彰式を行います。

日付	会場
10月15日～10月29日	淡路文化会館
10月31日～11月10日	津名図書館
11月12日～11月19日	北淡公民館
11月21日～11月29日	岩屋公民館
12月1日～12月5日	サンシャインホール
12月5日「人権を考える集い」	

小学校低学年の部

※人権標語入賞作品はＰ３に記載



特選
谷（たに）　実采（みこと）（志筑小１年）



入選
濵田（はまだ）　青播（あおば）（志筑小２年）



入選
神代（こうしろ）　莉央（りお）（浦小２年）



佳作
樋口（ひぐち）　はるか（石屋小３年）



佳作
北坂（きたさか）　日香栞（ひかり）（志筑小３年）



入選
正井（まさい）　俊希（しゅんき）（学習小１年）



佳作
濵田（はまだ）　紬（つむぎ）（北淡小２年）



佳作
東田（ひがしだ）　慶祐（けいゆう）（志筑小３年）



佳作
西岡（にしおか）　寛太（かんた）（塩田小２年）

事務局
淡路市役所市民生活部市民交流・人権課　〒656-2292　淡路市生穂新島８番地
TEL 0799-64-2521　FAX 0799-64-2565
e-mail:awaji_jinken@city.awaji.lg.jp

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。